

3月21日(土) さつき会館



## 自分だけの作品が完成 木工品を作りながら交流

ものづくりを通し、様々な年代の住民が交流することを目的に、志々を元気にする会主催の「志々暮らしものづくり交流会」が開催されました。

26人の参加者が本棚やイスなど、好きな作品を制作。慣れない工具の扱いに苦戦する一幕もありながら、難しい作業を協力し合ったり、お互いの作品を見せ合ったりと賑やかに交流を深めました。



完成した作品と一緒に記念写真

3月20日(金)祝 賀田城(下来島)



## 地域の歴史的資源を守り、伝える 賀田城整備活動

登山シーズンを前に、賀田城ウォーキングの会と地域住民による賀田城整備活動が行われました。

参加者は登山道周辺の草刈りや、城郭の笹や竹などを伐採。見晴らしの良くなった頂上からは雲海も見ることができ、素晴らしい眺めに感嘆の声が上がりました。5月8日、11月10日には来島公民館主催のウォーキング事業も予定されています。



10人が参加し熱心な作業が行われました

3月14日(土) 谷笑楽校



## 自作の味噌を使うと美味しさも倍増 手前味噌の活用法講座

余白を醸す発酵ラボ代表の大上祥子さん(角井)を講師に、味噌の活用法講座が開催されました。

参加者は、昨年5月に仕込んだ味噌を持参。同じ材料で仕込んで、保管する環境の違いで色合いや風味が違うことに驚いていました。みりんや酒と合わせた味噌床に野菜やチーズを漬け込む方法など、簡単に出来る活用法を教わりました。



自作の味噌をずらりと並べて味比べ

3月13日(金) 頓原公民館



## お互いを知って輪を広げよう ミャンマー料理にチャレンジ!

町内で働くミャンマー出身者4人が講師となり、ミャンマー料理を作る料理教室が開催されました。

参加者は、ユリ科植物の金針菜やナンプラーなど普段は見慣れない東南アジアの食材を調理しながらミャンマーの言葉や文化を教わり、料理を通して交流。春雨を使った麺料理「ジャーザンチェ」が完成すると、全員でにぎやかに試食会をしました。



レモンやパクチーを入れるとまたひと味違う風味に

4月4日(土) 冒険の森とんぼら



## 学びながら楽しむふるさと講座 原木きのこの植菌体験

自然や歴史・文化などを学ぶ「い〜にゃん里山講座」で原木きのこ植菌体験が行われました。

参加者は、用意されたコナラの原木に穴をあけ、シイタケとナメコの種菌を打ち込みました。原木の中に菌が回りキノコの収穫ができるまで約1年かかるため、原木を持ち帰った参加者は「たくさん採れるのを楽しみに気長に待ちたい」と話していました。



電動ドリルで穴を開け等間隔に種菌を打ち込みます

3月28日(土) 憩いの郷衣掛



## 「健康」を深く考える機会に 健康と福祉の講演会

健康に関する講演会が赤名地域まちづくり連絡会主催で開催されました。

本町出身で福島県立医科大学で教授を務めた福島哲仁さんが講師となり、東日本大震災での被災者支援やコロナ禍での実体験を交えて健康について講演。福島さんは「健康は生きる目的ではなく、毎日の生活や人生を楽しむための資源」と締めくくりました。



福島邸(赤名)で過ごした思い出を話す場面も

3月18日(水) 田部竹下酒造(雲南市)



## 大勢の参加者でにぎやかに 高齢者交流とお買い物ツアー

70歳以上で一人暮らしの人を対象としたツアーが、飯南町社会福祉協議会主催で開催されました。

高齢者同士の交流と、外出や買い物などの生活支援が目的のツアー。4回目となる今回は、雲南市にある総合スーパーや田部竹下酒造、道の駅たたらば壱番地などを巡り、各所で買い物や観光を楽しみました。参加者は「美味しい食事もして大満足です」と話していました。



酒蔵では酒粕の詰め放題に奮起

3月15日(日) 来島交流センター



## 日ごろの文化活動のお披露目会 飯南町文化協会 交流会

文化協会の会員同士の親睦を深める機会として交流会が開催されました。

短歌会や写真クラブ、ダンスやハンドベルの会など16団体65人が参加。バンドの演奏を皮切りに様々な活動発表が披露されると、熱心に聞き入る様子が見られました。それぞれの文化活動に理解を深める機会となりました。



ステージが華やかに(とんぼら健康ダンススマイル)